

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-266822

(43)Date of publication of application : 22.09.1994

(51)Int.Cl. G06F 15/62
G09G 5/10
G09G 5/40

(21)Application number : 05-050658

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 11.03.1993

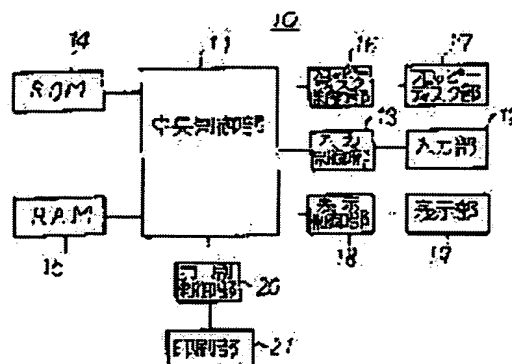
(72)Inventor : OSAWA YASUHIRO

(54) DEVICE AND METHOD FOR PREPARING DOCUMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a document and a graphic from being mutually broke by printing out a mutually superposed part between a document print and a graphic print as a void.

CONSTITUTION: This document preparing device is provided with an input means 12 for inputting input data consisting of document input data and graphic input data, a 1st reading means for reading out document data of respective storage parts 14, 15 at the time of inputting the document input data to the means 12, a 2nd reading means for reading out graphic data from the storage parts 14, 15 at the time of inputting the graphic input data to the means 12, a void means for extracting a superposed part between the document data and the graphic data as a void when both the data read out of the storage parts 14, 15 are displayed in the partially superposed state, and a printing means 21 for printing out void data extracted by the voiding means on printing form.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-266822

(43)公開日 平成 6 年(1994) 9 月22日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 15/62

3 2 5 K 8125-5L

G 0 9 G 5/10

Z 8121-5G

5/40

8121-5G

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平5-50658

(22)出願日 平成 5 年(1993) 3 月11日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 大 澤 康 弘

東京都青梅市末広町 2 丁目 9 番地 株式会

社東芝青梅工場内

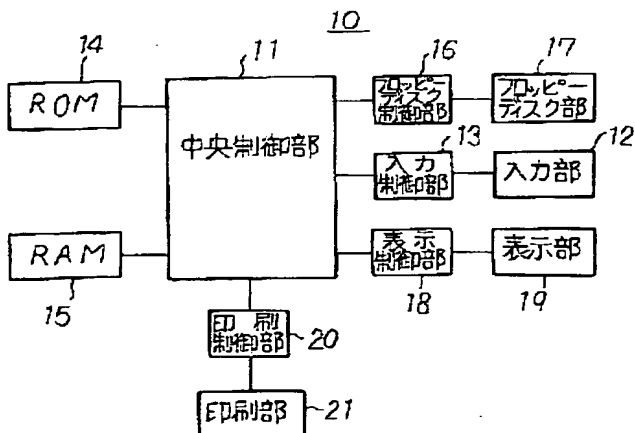
(74)代理人 弁理士 佐藤 一雄 (外 3 名)

(54)【発明の名称】 文書作成装置および方法

(57)【要約】

【目的】 文書印刷と図形印刷との重なり合う場合に重なる部分を相互に白抜きに印刷したもの。

【構成】 文書入力データ、図形入力データの入力データを入力する入力手段 1 2 と、この入力手段 1 2 の文書入力データの入力により記憶部から文書データを読み出す第 1 の読出し手段 1 0 と、前記入力手段による図形入力データの入力により記憶部から図形データを読み出す第 2 の読出し手段 1 0 と、これらの文書データと図形データとが記憶部から読出され重なり合って表示出力される場合、当該重なり合った文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとる白抜き手段 1 0 と、この白抜き手段が抜き出した白抜きデータにより印刷用紙に印刷する印刷手段 2 1 とを備えたものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】文書入力データ、図形入力データの入力データをを入力する入力手段と、

この入力手段の文書入力データの入力により記憶部から文書データを読み出す第1の読出し手段と、

前記入力手段による図形入力データの入力により記憶部から図形データを読み出す第2の読出し手段と、

これらの文書データと図形データとが記憶部から読出され、重なり合って表示出力される場合、当該重なり合った文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとる白抜き手段と、

この白抜き手段が抜き出した白抜きデータにより印刷用紙に印刷する印刷手段と、

を備えたことを特徴とする文書作成装置。

【請求項2】文書入力データ、図形入力データの入力データをを入力し、

この文書入力データの入力により記憶部から文書データを読み出すとともに図形入力データの入力により図形データを読み出し、

文書データと図形データとが前記記憶部から読み出されて出力表示時に重なり合って出力される場合、この重なり合う文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとり、

この白抜きに抜きとった白抜きデータにより印刷用紙に印刷する、

ようにしたことを特徴とする文書作成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は文書作成装置および文書作成方法に係り、特に、文書データと図形データとが記憶部から重なり合って読出された場合、この重なり合う文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとり、白抜きデータにより印刷用紙に印刷するようにした文書作成装置および方法に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】文書作成装置による印刷では、文書と図形を別々に印刷し、文書と図形が印刷用紙で相互につぶれないようにしている。

【0003】しかし、このような別々の印刷を行っても文書印刷と図形印刷とが重なり合い相互につぶれ見ずらくなると言う問題があった。

【0004】そこで、本発明は文書データと図形データとが重なり合うときには印刷を相互に白抜きに抜き、白抜きデータにより印刷するようにした文書作成装置および方法を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、文書入力データ、図形入力データの入力データを入力する入力手段と、この入力手段の文書入力データの入力により記憶部

2

から文書データを読み出す第1の読出し手段と、前記入力手段による図形入力データの入力により記憶部から図形データを読み出す第2の読出し手段と、これらの文書データと図形データとが記憶部から読出され、重なり合って表示出力される場合、当該重なり合った文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとる白抜き手段と、この白抜き手段が抜き出した白抜きデータにより印刷用紙に印刷する印刷手段とを備えたことを特徴とする文書作成装置を提供するものである。

【0006】また、文書入力データ、図形入力データの入力データを入力し、この文書入力データの入力により記憶部から文書データを読み出すとともに図形入力データの入力により図形データを読み出し、文書データと図形データとが前記記憶部から読み出されて出力表示時に重なり合って出力される場合、この重なり合う文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとり、この白抜きに抜きとった白抜きデータにより印刷用紙に印刷するようにしたことを特徴とする文書作成方法を提供するものである。

【0007】

【作用】文書入力データ、図形入力データの入力データを入力する。これらの入力データの入力により記憶部から文書データ、図形データを読み出す。この読出した文書データと図形データとが重なり合う場合、この重なり合う文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとり、この白抜きに抜きとった白抜きデータにより印刷用紙に印刷する。

【0008】

【実施例】以下、本発明文書作成装置および方法の一実施例を添付図面により説明する。図1は本発明文書作成装置および方法を実施するための主要部を示すブロック線図である。

【0009】この文書作成装置10にはCPU等を有する中央制御部11が備えられ、入力部12から入力制御部13を介して文書入力データ、図形入力データを受けようになっている。

【0010】この中央制御部11にはROM等の第1の記憶部14が備えられ、文書フォント、文書プログラム等が保存されている。この中央制御部11にはRAM等の第2の記憶部15が備えられ、文書データ、図形データが一時的に保存される。

【0011】この中央制御部11にはフロッピディスク制御部16を介してフロッピディスク部17が備えられ、プログラムの読み込みや文書データ、図形データ等の保存、読み込みが行われる。

【0012】また、この中央制御部11には表示制御部18を介してLED等の表示部19が備えられ、入力部12からの文書入力データ等を受け第1の記憶部14、第2の記憶部15等から読出した文書データ、図形データ等を表示するようになっている。

【0013】この中央制御部11には印刷制御部20を介して印刷部21が備えられ、入力部12から入力される文書入力データ等を受けると、第1の記憶部14、第2の記憶部15等から読出した文書データ、図形データを読み出し、中央制御部11、フロッピディスク部17等の制御により印刷用紙（図示せず）に印刷するようになっている。

【0014】このように構成した文書作成装置10により文書印刷、図形印刷等を行う場合について図2乃至図8のフローチャートを参照して説明する。

【0015】文書作成装置10は図2に示すように電源（図示せず）が入れられると、表示部19にメインメニュー作業項目が表示される（S1）。このメニュー作業項目から文書、図形等の新規作成を選択すると（S2）、図3に示すように新規作成処理が行われる（S3）。

【0016】また、メニュー作業項目から他機能を選択すると（S4）、他機能、例えば、文書データ、図形データが段落落とし、位置調整が行われる（S5）。終了が選択されると終了する（S6）。

【0017】新規作成の選択により（S2）、図3に示すように新規作成処理の作成条件が設定される（S10）。この作業メニューは表示部19に表示される（S11）。

【0018】ここでフレーズ作成すなわち文書作成を選択すると（S12）、図4に示すようにフレーズ作成処理が行われる（S13）。

【0019】また、飾枠作成すなわち図形作成を選択すると（S14）、図5に示すように飾枠作成処理が行われる（S15）。

【0020】さらにまた、印刷作成を行うを選択すると（S16）、印刷条件設定が行われる（S17）。この印刷条件ではフレーズ作成処理すなわち文書作成処理（S14）と飾枠作成処理すなわち図面作成処理（S16）とが相互に重なり合う場合、その重なり合う部分の印刷を白抜きになるように白抜きデータが形成される。この白抜きデータが印刷制御部20を介して印刷部21に送られ、白抜き印刷をするようになっている（S18）。

【0021】さらに、他機能処理を選択すると（S19）、他機能の実行が行われる（S20）。終了が選択されると終了する（S21）。

【0022】フレーズ作成の選択により（S13）、図4に示すように表示部19にフレーズ作成メニューが表示される（S30）。このフレーズ作成メニューからフレーズ作成が選択されると（S31）、フレーズ作成が行われる（S32）。

【0023】このフレーズ作成には入力部12から文書入力データが入力される。この入力データを受け中央制御部11では第1の記憶部14および第2の記憶部15に記憶保存されている文書データ等を読み出す。この読出

した文書データは表示制御部18を介して表示部19に表示するとともにフロッピディスク制御部17を介してフロッピディスク部17に記憶保存する。

【0024】また、飾枠作成の選択により（S15）、図5に示すように表示部19には飾枠作成メニューが表示される（S40）。この飾枠作成メニューから飾枠作成が選択されると（S41）、飾枠作成が行われる（S42）。

【0025】この飾枠作成には入力部12から図形入力データが入力される。この入力データを受け中央制御部11では第1の記憶部14および第2の記憶部15に記憶保存されている図形データを読み出す。この読出した図形データ等が表示制御部18を介して表示部19に表示するとともにフロッピディスク制御部17を介してフロッピディスク部17に記憶保存する。

【0026】文書入力データ、図形入力データが入力した後、入力部12から印刷指令があると、この印刷指令が中央制御部11に送られる。中央制御部11ではフロッピディスク制御部17を介してフロッピディスク部17に記憶保存した文書入力データ、図形入力データを読み込み、印刷制御部20を介して印刷部21に送る。

【0027】印刷部21ではこれらの文書データ、図形データを受けると印刷用紙に印刷を開始する。

【0028】このとき図6に示すように通常の文書領域A1では文書データがそのまま印刷される。文書領域A2と図形領域B2とが相互に重なり合う部分では文書データが白抜きデータにより白抜きに印刷される。

【0029】図形領域B3と図形領域B3とが相互に重なり合う部分では図形データが相互に白抜きデータにより白抜きに印刷される。このため印刷用紙は図形データが無くなり、通常の文書データがそのまま印刷される。

【0030】さらに、文書領域A3と図形領域B3とが相互に重なり合う部分では文書データが白抜きデータにより白抜きに印刷される。

【0031】最後に、通常の文書領域A4では文書データがそのまま印刷される。

【0032】他機能を選択されると（S43）、他機能の実行が行われる（S44）。終了が選択されると終了する（S45）。

【0033】このような印刷処理を行うと、文書と図形とが混在しても文書と図形とが相互に白抜きになるから文書と図形とが相互につぶれ合うことがない。

【0034】

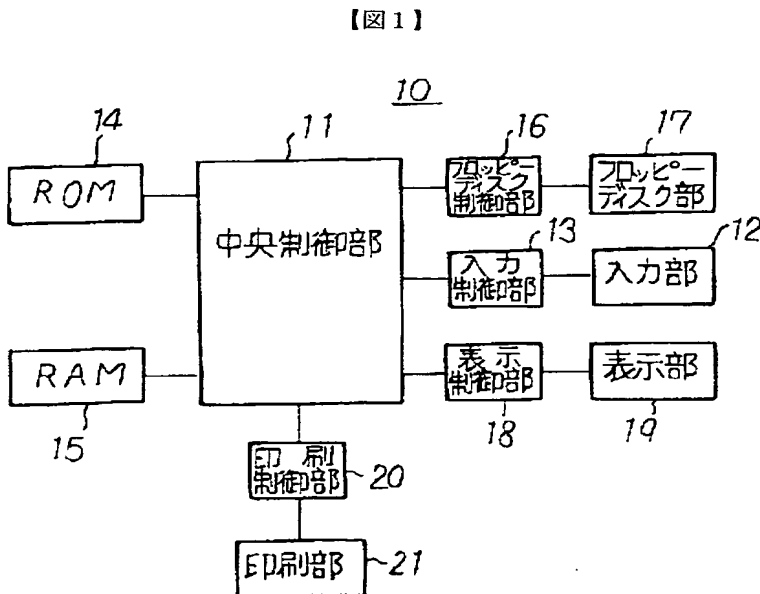
【発明の効果】本発明は、文書入力データ、図形入力データの入力データを入力する入力手段と、この入力手段の文書入力データの入力により記憶部から文書データを読み出す第1の読出し手段と、前記入力手段による図形入力データの入力により記憶部から図形データを読み出す第2の読出し手段と、これらの文書データと図形データとが重なり合って出力表示される場合、この重なり合った

文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとる白抜き手段と、この白抜き手段が抜き出した白抜きデータにより印刷用紙に印刷する印刷手段とを備えたから、文書印刷と図形印刷を同時に行っても文書と図形とが相互につぶれ合うことがない。

【0035】また、文書入力データ、図形入力データの入力データを入力し、この文書入力データの入力により記憶部から文書データを読出すとともに図形入力データの入力により図形データを読出し、文書データと図形データとが重なり合って出力表示される場合、この重なり合う文書データと図形データとを相互に白抜きに抜きとり、この白抜きに抜きとった白抜きデータにより印刷用紙に印刷するようにしたから、文書印刷と図形印刷を同時に行っても文書と図形とが相互につぶれ合うことがなく、かつ、迅速適確に印刷を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明文書作成装置の主要部を示すブロック線図。



【図2】図1の動作を示すフローチャート図。

【図3】図2の主要部の動作を示すフローチャート図。

【図4】図3の主要部の動作を示すフローチャート図。

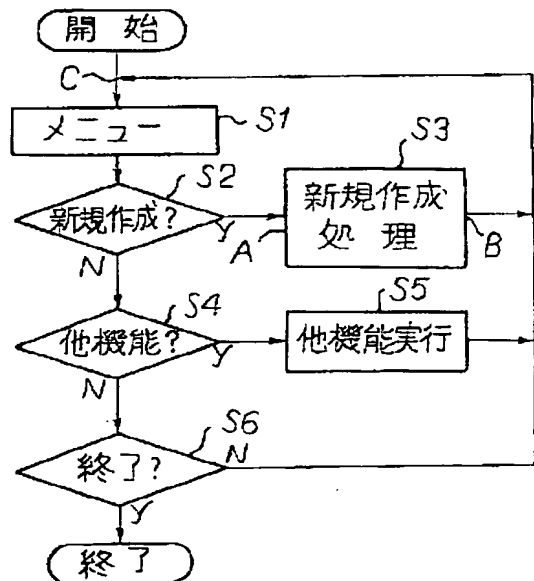
【図5】図3の主要部の動作を示すフローチャート図。

【図6】白抜きで印刷の一例を示す説明図図。

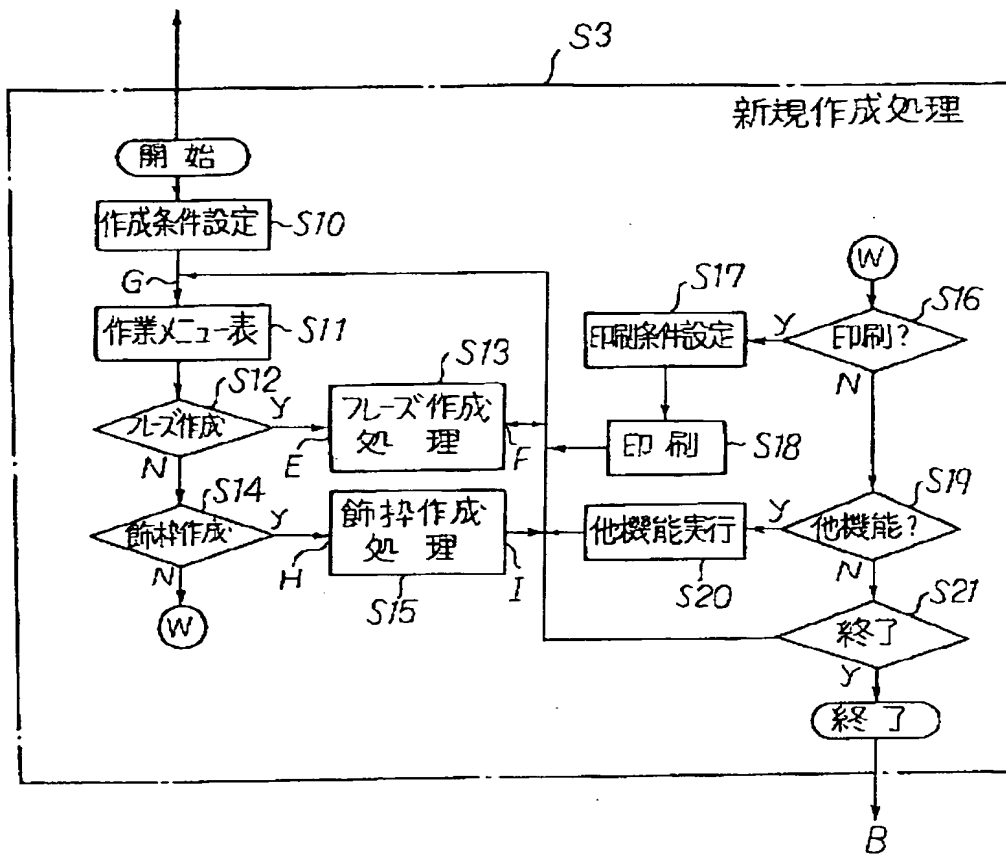
【符号の説明】

- 10 文書作成装置
- 11 中央制御部
- 12 入力部
- 13 入力制御部
- 14、15 記憶部
- 16 フロッピーディスク制御部
- 17 フロッピーディスク部
- 18 表示制御部
- 19 表示部
- 20 印刷制御部
- 21 印刷部

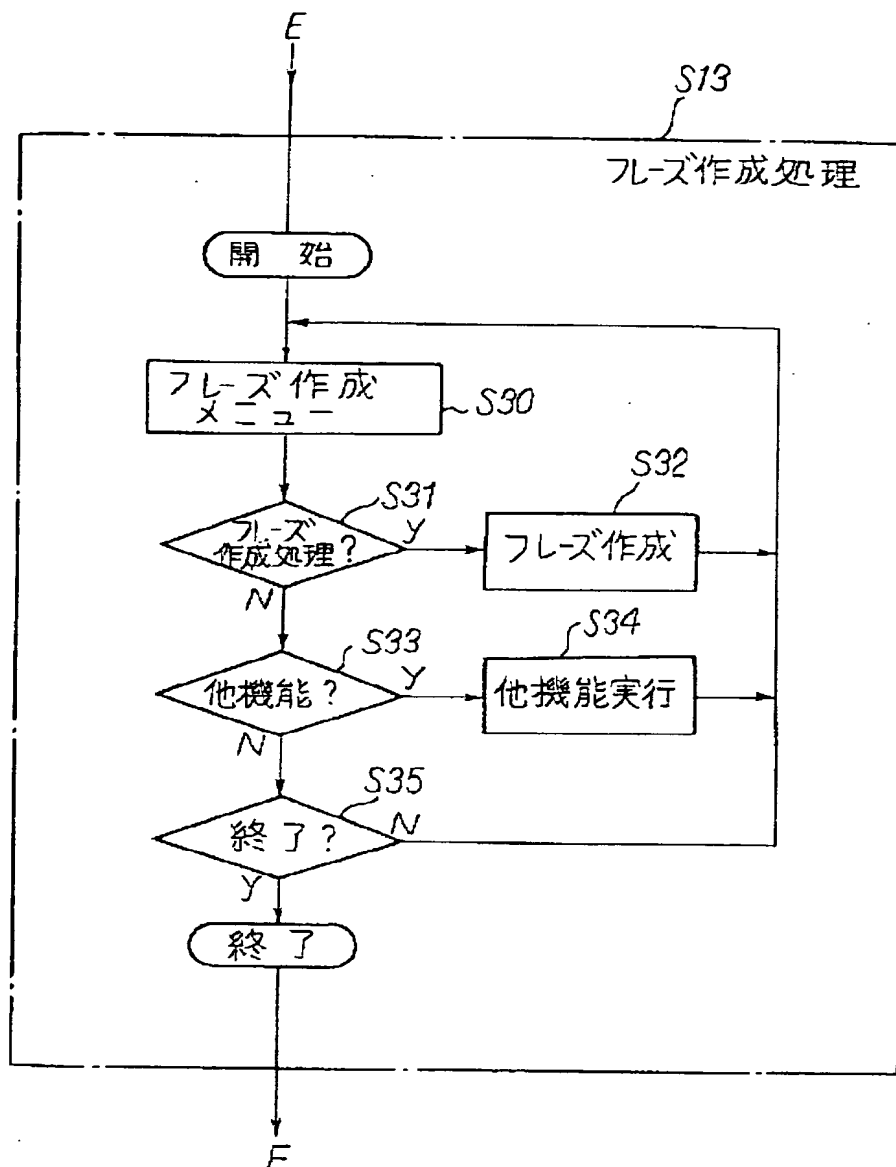
【図2】



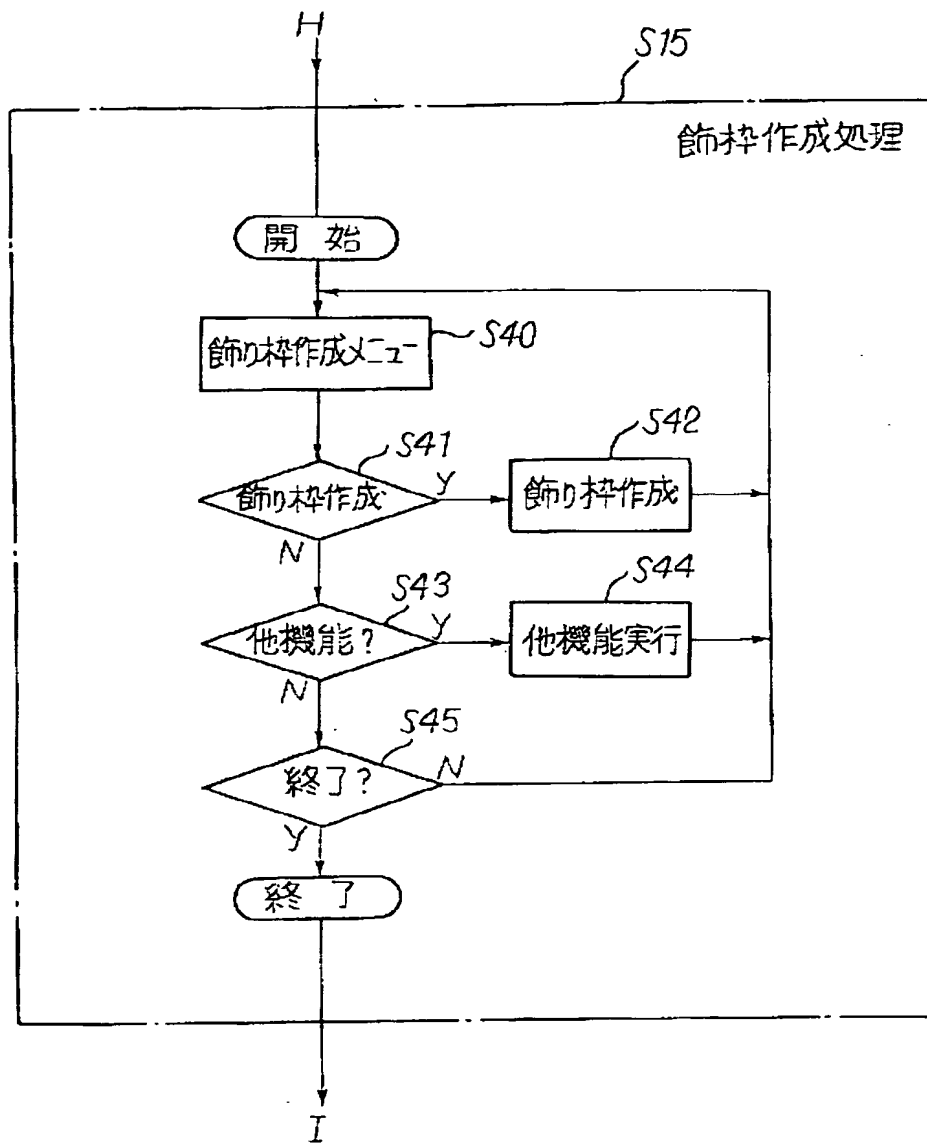
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

